

いつでも、どこでも、何度でも！

2020年1月20日（月）正午より配信開始

『eラーニング講座』開講のご案内

会計教育研修機構では、時間や場所にとらわれずに“いつでも、どこでも、何度でも”当法人の研修プログラムを活用していただくことを目的として、2020年1月より、eラーニングシステムを導入いたします。eラーニングにより配信する講座は、パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも視聴していただくことができます。

eラーニングのメニューは、「IFRS入門講座」、「IFRS基礎講座」、「IFRSの考え方」、「会計基準実践講座（前編・後編）」の4コースとなります。各講座の概要については、裏面をご参照ください。なお、今後、eラーニング講座を増設していく予定です。

法人会員・個人会員には、1IDを無料で提供いたします。受講料の詳細は、下表をご確認ください。

eラーニングを受講していただくには、受信に適した環境が必要となりますので、裏面をご参照のうえ、ご確認をお願いいたします。eラーニング講座は、CPEの対象とはなりませんので、ご注意ください。

eラーニング 受講のお申込みから受講完了までの流れ

A

受講登録

B

受講料お支払い

C


視聴開始
受講用画面の開設

視聴期間：視聴開始日の4か月後の月末まで

(例) 視聴開始日 2020年2月8日 → 視聴期限 6月30日

D

視聴期間満了

<p>A 受講登録</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ eラーニングのお申込みの際に、受講する講座をお選びください。 ◆ 受講登録手続きの詳細は、下記をご確認ください。 (http://www.jfael.or.jp/practical/general/e2_20200114.pdf) ◆ お申し込みは下記のURLまたは、左のQRコードよりお申込みください。 (https://business.form-mailer.jp/fms/6a076afc115636) 	
<p>B 受講料お支払い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 受講登録完了後に受講料を銀行振込にてお支払いいただけます。 ◆ お振込みは、原則として、eラーニングの視聴の開始予定日の2営業日前までに完了して下さい。 ◆ 当法人でご入金を確認後、eラーニング受講の案内メールを送付いたします。 	
<p>C 受講用画面の開設 視聴開始</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 受講案内メールに添付のURLからeラーニングシステムにアクセスいただけます。 ◆ 視聴開始日は当案内メールが届いた日となります。 ◆ 視聴開始日から4か月後の月末まで、視聴していただくことができます。 ◆ 視聴期間内であれば、同じ講義を繰り返し受講することができます。 	
<p>D 視聴期間満了</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 視聴期限を過ぎると、自動的に視聴できなくなるので、期限内に受講を完了して下さい。 	

受講料

講座	法人会員(年会費10万円)	個人会員(年会費3万円)	一般(注2)
①会計基準実践・前編	1IDは無料、同時に2ID以上使用する場合、1IDにつき25,000円(注1)	無料	25,000円
②会計基準実践・後編	1IDは無料、同時に2ID以上使用する場合、1IDにつき25,000円(注1)	無料	25,000円
③IFRS入門	1IDは無料、同時に2ID以上使用する場合、1IDにつき15,000円(注1)	無料	15,000円
④IFRSの考え方	1IDは無料、同時に2ID以上使用する場合、1IDにつき15,000円(注1)	無料	15,000円
⑤IFRS基礎講座	1IDは無料、同時に2ID以上使用する場合、1IDにつき30,000円(注1)	無料	対象外

(注1) 1IDは1名で使用していただくことを前提としております。同一のIDで同時期にeラーニングシステムにアクセスすることはできません。同時期に複数名がeラーニングを受講する場合、受講登録が必要となります。

(注2) 実務補習生会員は一般に準じた取扱いです。

講座概要

講座番号①・②会計基準実践講座(2019年版) 全10回(①前編・②後編)

講師: EY新日本有限責任監査法人



経理・決算実務に会計基準を適用するにあたっては、会計基準が設定された背景やその考え方を十分に理解したうえで、実務上の取引に適切にあてはめることが求められます。本講座は、経理部門で一定の経験を積んだ中堅クラスの方々を対象として、単なる会計基準の基本的な定めへの解説に留まることなく、経理・決算実務における実践力を醸成すべく、ケーススタディや設例も用いながら、講義を展開します。各回のポイントを「確認テスト」という形で復習し、その解説によって知識の定着を図るとともに、実践力を身に付けることを目指したものです。

※当講座は、2019年2月から9月に金融ビレッジで開催した講義を収録したものです。

①前編のプログラム

- 第1回 税効果会計
- 第2回 退職給付会計
- 第3回 金融商品会計(総論・有価証券)
- 第4回 金融商品会計(ヘッジ会計)
- 第5回 減損会計

②後編のプログラム

- 第6回 収益認識
- 第7回 企業結合会計(総論・共通支配下の取引)
- 第8回 企業結合会計(取得)
- 第9回 連結会計
- 第10回 引当金・資産除去債務

講座番号③IFRS入門講座(2019年版) 全3回

講師: 橋本 尚氏(青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科 教授)



2014年以降、日本政府の「日本再興戦略」や未来投資戦略で「IFRSの任意適用企業の拡大促進」が示され、わが国におけるIFRSの任意適用企業数は200社を超えました。本講義は、IFRSを初めて学ぶ人を対象に、①IFRSの基本的な考え方(原則主義、財務報告に関する概念フレームワークなど)、②主要なIFRSの概要(収益認識など)、③IFRS財務諸表の読み方のポイントについて、基礎からわかりやすく解説し、IFRSの全体像の把握を目指したものです。

※当講座は、2019年6月28日に金融ビレッジで開催した講義を収録したものです。

講座番号④IFRSの考え方(2019年版) 全3回

講師: 秋葉 賢一氏(早稲田大学大学院 会計研究科 教授)



現行のIFRSの解釈も重要ですが、IFRSはどのような考え方に基づいて開発されているのか、その根底にある考え方を理解することも必要といえます。本講義は、2018年3月に改正されたIASBの概念フレームワークのみならず、各IFRSの横断的な論点に触れることによって、IFRSの適切な理解などに役立てることを目指したものです。

※当講座は、2019年8月27日、9月12日及び13日に金融ビレッジで開催した講義を収録したものです。

講座番号⑤<会員限定講座>IFRS基礎講座(2019年版) 全6回

講師: 有限責任監査法人トーマツ



IFRSの任意適用企業が増加し、海外子会社でのIFRS利用が定着化する中、経営管理のためにも、IFRSに対する知識は不可欠なものとなりつつありますが、IFRSが「原則主義」の会計基準であること、また日本の会計基準とは構成等が大きく異なることから、独力で学習することは難しいのが現実と思われます。本講義は、設例や実務例を交えて、IFRSを構成する主な基準の主要論点や、日本基準との主要な差異を解説し、IFRSの主な基準の基礎的な知識の習得を目指したものです。

※当講座は、実務補習所のeラーニング教材と同じものです。

当講座のプログラム

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| 第1回 収益 | 第4回 リース |
| 第2回 有形固定資産・無形資産・売却目的保有資産 | 第5回 連結・持分法 |
| 第3回 棚卸資産・減損会計・引当金・法人所得税 | 第6回 上記以外のIFRSと日本基準の重要な差異に関する項目 |

eラーニング受講にあたってPC等の動作環境

	Windowsの場合	Macの場合
OS	Windows10、Windows 8.1、Windows7	macOS v10.14 Mojave、macOS v10.13 High Sierra、macOS v10.12 Sierra
ブラウザ	Internet Explorer 11、Microsoft Edge、Firefox、Google Chromeの最新版	Safariの最新版

【お問い合わせ先】

一般財団法人会計教育研修機構 役員・会計実務家研修グループ(細谷)
E-mail: seminar@jfael.or.jp ☎(03)3510-7860